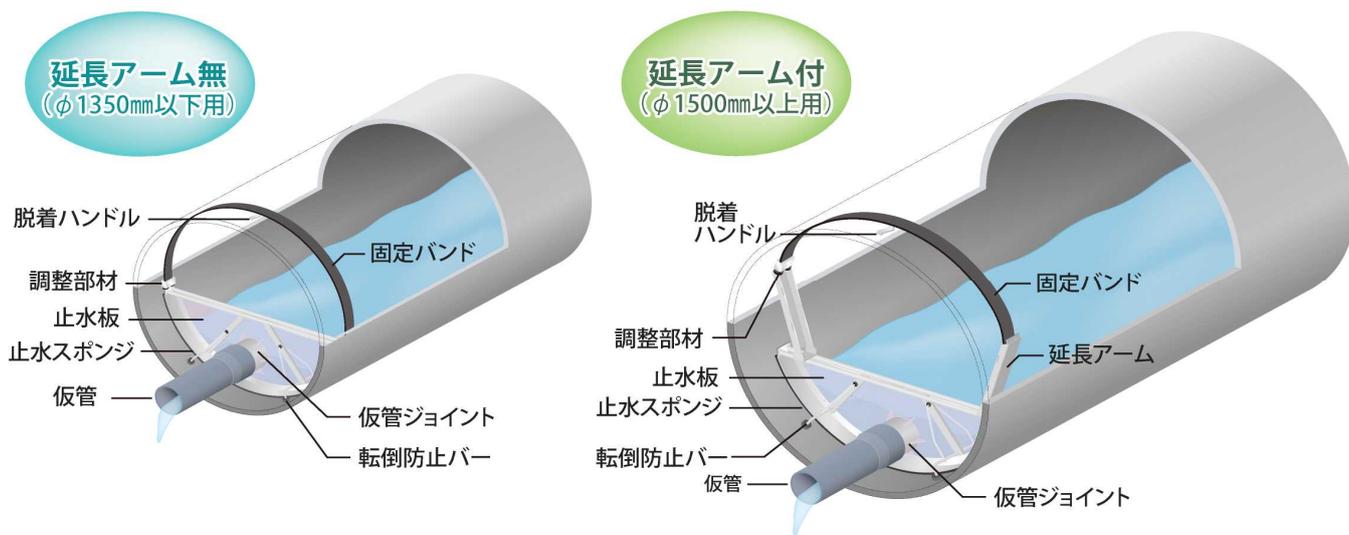


## 下水道管路点検・補修用 水替えシステム「エクストッパー」

水替えシステム「エクストッパー」とは、管路内の点検・補修を容易にすることを目的とした、止水板・仮管によるバイパスシステムです。

従来の工法では難しかった「十分な止水」や、「簡単な施工」を可能にします。



止水板：下水を堰き止めるための部材  
 止水スポンジ：管内面の凹凸へ対応する止水部材  
 固定バンド：止水板を管内に固定する部材  
 脱着ハンドル：固定バンドの取外しを行う部材  
 調整部材：固定バンドの長さ調整を行う部材

転倒防止バー：止水板の転倒を防止する部材  
 延長アーム：固定バンド延長調節用部材  
 仮管ジョイント：仮管を止水板に接続させる部材  
 仮管：下水を排水させるバイパス管

### 水替えシステム「エクストッパー」の特徴

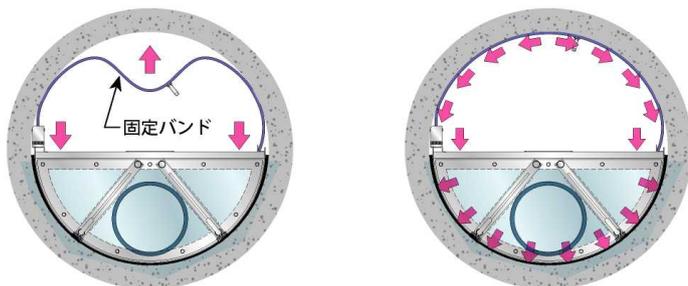
弾性体である固定バンドを既設管内面に張り付けることで、その張力により止水板を圧着させます。脱着時には脱着ハンドルを引き下げることにより簡単に取り外し可能です。

止水板外周に止水用スポンジを取り付け、止水性を向上させています。

仮管を接続させることで、堰き止められた下水の排水を行います。

すべての部材がマンホール 600mmより搬入できます。

800mm～2000mmの管路に対応可能です。



固定バンドの張力で止水板を押し下げ管内に固定します。

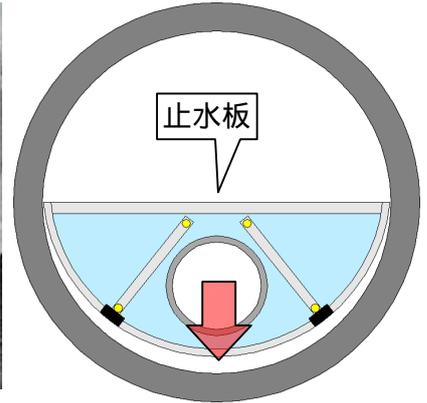
## 水替えシステム「エクストッパー」の施工手順

### 止水板の設置

既設管内の出来るだけ凹凸の少ない場所を選びます。

管内面に均等に力がかかるように、設置前に既設管内に堆積した土砂を十分に取り除きます。

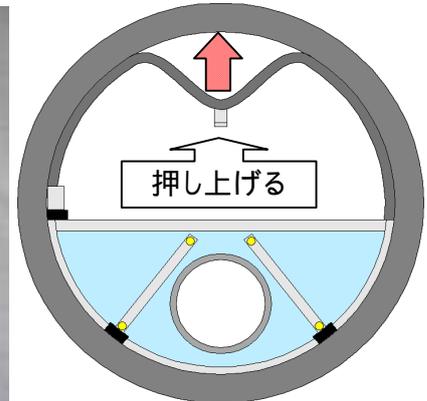
止水板は管に対し、垂直となるように設置します。



### 固定バンドの設置

止水板をゴムハンマーなどで位置固定した後、固定バンドを設置します。

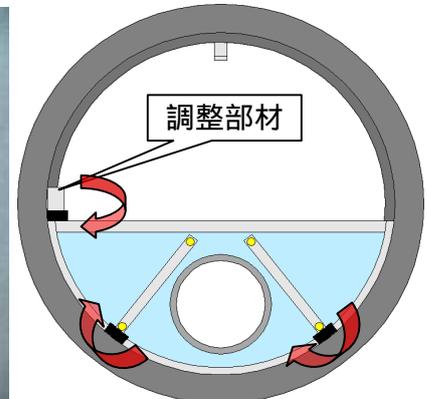
たわんだ固定バンドを上方向に押し上げ、管内面に張り付くことで、全体に力が加わります。



### 固定バンド、転倒防止バーの調整

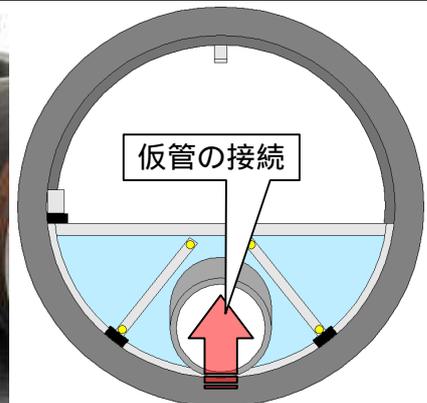
固定バンドの張りを調整します。

調整部材下部の台座を時計周りに回転させることで、バンドを拡張することができます。安全のため、転倒防止バーの台座を管に接地し、止水板が十分に管に固定され、止水用のスポンジから漏水がなければ設置完了です。

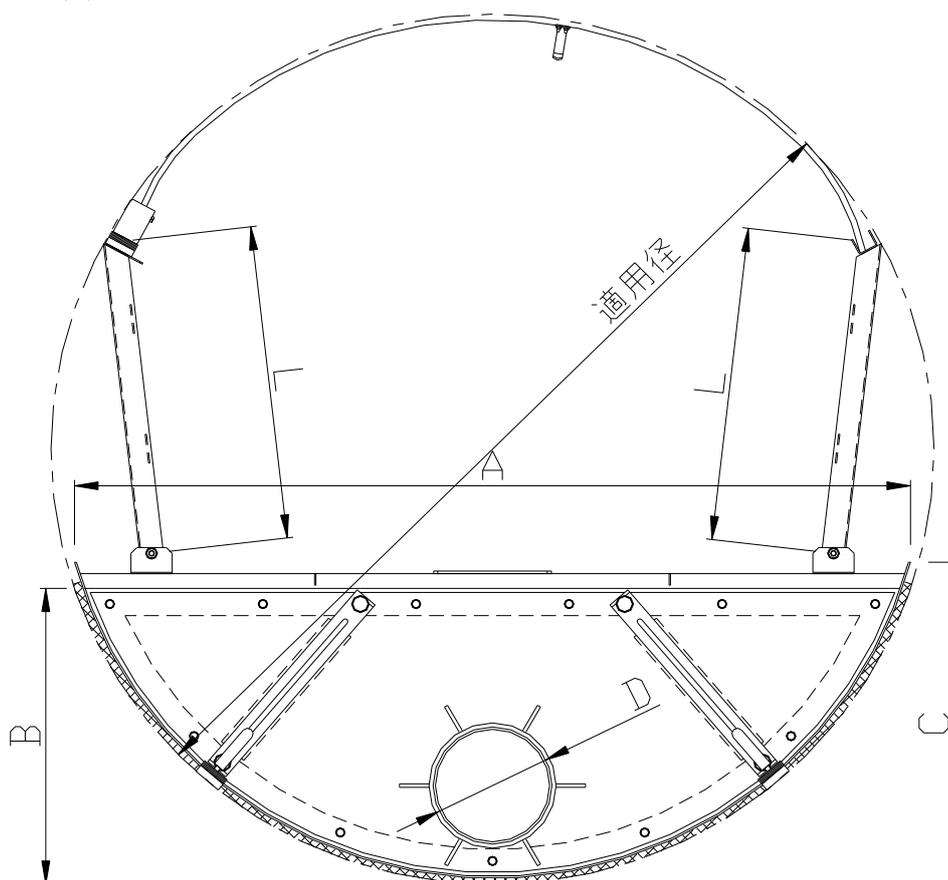


### 仮管の設置

仮管を取付ければ作業完了です。



## 製品ラインナップ



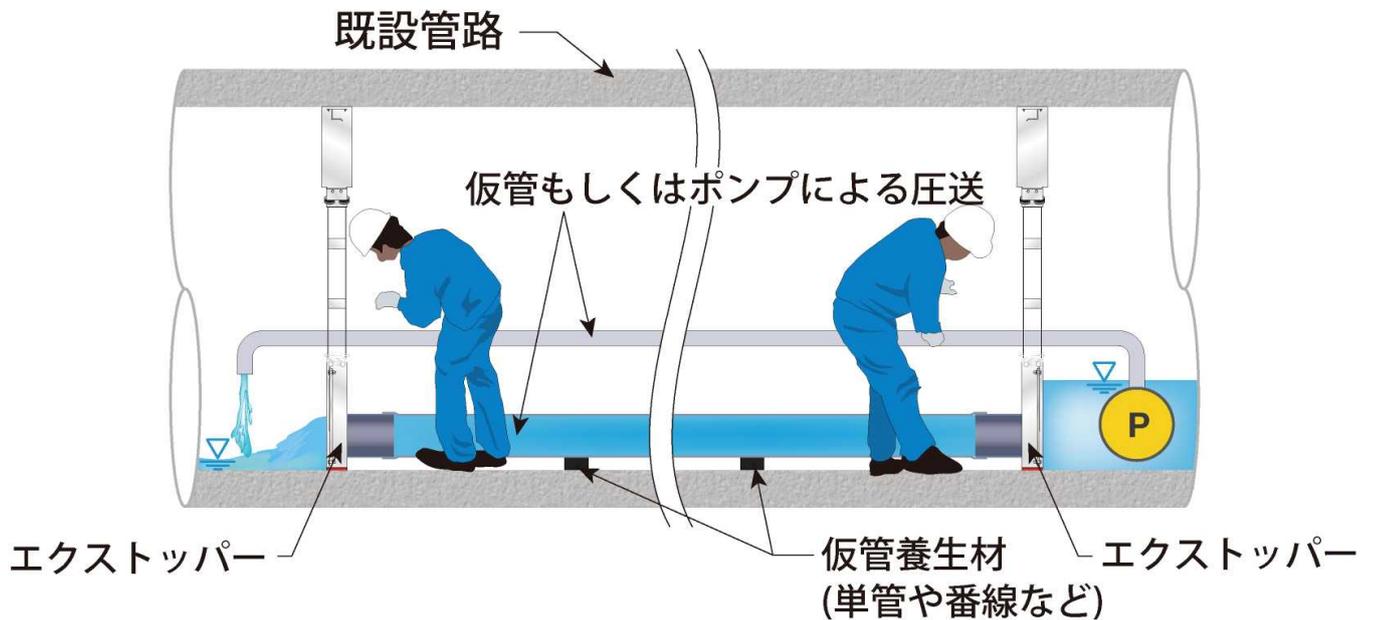
品番	適用径	幅 A (mm)	有効高 B (mm)	全高 C (mm)	仮管径 D (mm)	延長アーム L (mm)	最大排水量 Q (m <sup>3</sup> /s)
XTS-800	800	770	350	395	200	-	0.0303
XTS-900	900	870	400	445	200 ~ 250	-	0.0341 ~ 0.0503
XTS-1000	1000	970	450	495	200 ~ 300	-	0.0374 ~ 0.0765
XTS-1100	1100	1070	500	545	200 ~ 350	-	0.0405 ~ 0.1092
XTS-1200	1200	1167	500	545	200 ~ 350	-	0.0405 ~ 0.1092
XTS-1350	1350	1300	500	545	200 ~ 350	-	0.0405 ~ 0.1092
XTS-1500	1500	1420	500	545	200 ~ 350	540	0.0405 ~ 0.1092
XTS-1650	1650	1531	500	545	200 ~ 350	540	0.0405 ~ 0.1092
XTS-1800	1800	1634	500	545	200 ~ 350	780	0.0405 ~ 0.1092
XTS-2000	2000	1763	500	545	200 ~ 350	780	0.0405 ~ 0.1092

延長アームはXTS-1500以上に付属します。

## 水替えシステム「エクストッパー」の設置例

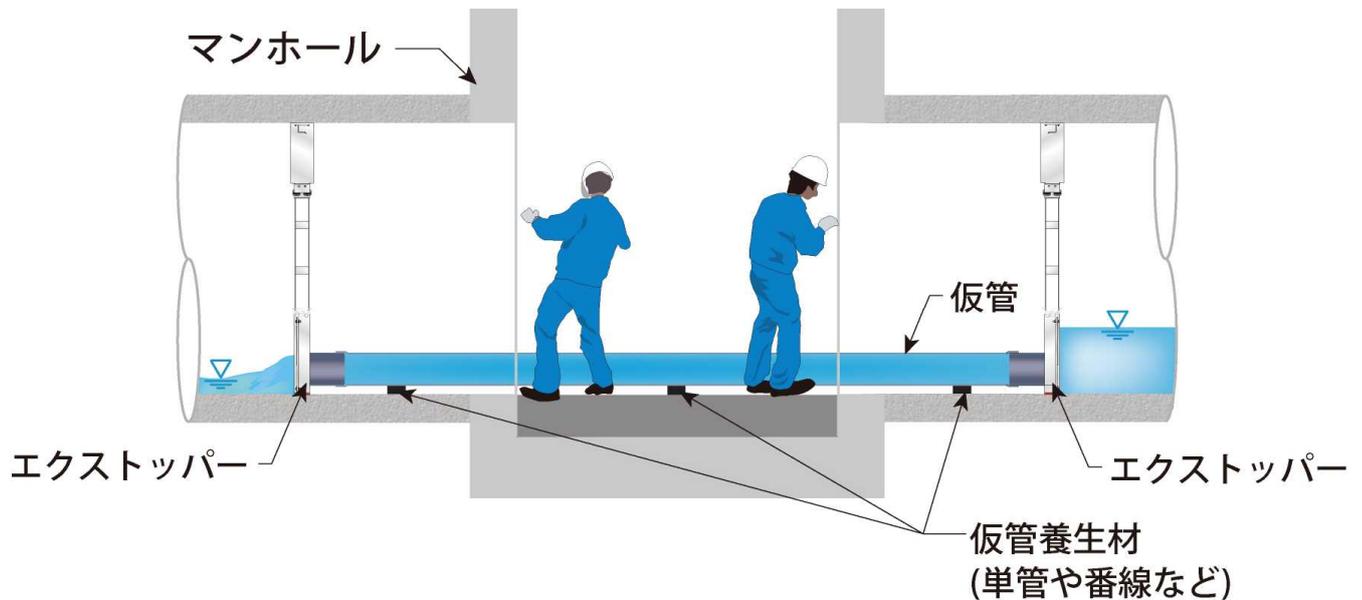
### 管路内を点検・補修する場合の設置方法

【管の調査・点検・補修時】 【管路更生時】



### マンホールを点検・補修する場合の設置方法

【マンホールの改修・補修時】 【マンホール底部のインバート打ち替え】  
【管のマンホール継手部分の耐震化工事時】 【割込みマンホール築造時】



キャップ止めによる水中ポンプを使用した圧送での水替えも可能です。